

GPW 奨学生報告書 2021 年度前期

平素よりお世話になっております。NPO 法人アクションの山本です。

2021 年度は 1 名の奨学生に対して支援を実施しています。当会の担当スタッフが奨学生と連絡を取りながら、奨学生の様子をモニタリングしています。早速ですが、今年度の奨学生の状況と様子を下記の通りご報告させていただきます。

【奨学生の様子】

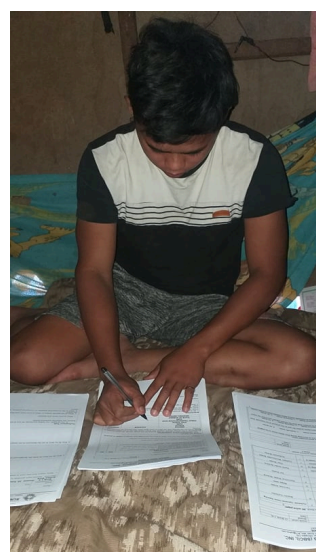
Velasco, Aris (12 年生)

アリスは今年度、義務教育過程の最終学年である中等教育後期過程の 12 年生(日本の高校 3 年生に相当)として学業に取り組んでいます。フィリピンでは依然として新型コロナウイルスの感染防止のための規制が続いており、今年度も昨年度に引き続き、対面での授業は原則禁止となっています。そのため、アリスの通う学校では、家庭学習用教材(モジュール)の使用を中心とした授業形態で、授業が実施されています。

家庭学習用教材を使用した授業形態では与えられた期限までに家庭学習用教材の課題を完成させ提出をすればよいため、それに取り組む時間は各個人で決めることができるという特徴があります。アリスは、その特徴を利用し、昼間の時間は家計を助けるためにアルバイトの仕事をし、アルバイトが終わる夕方から夜間にかけて、家庭学習用教材に取り組むというスケジュールで、毎日学業に取り組んでいます。

アリスの話では、学校から出される家庭学習用教材の課題の量が非常に多く、とても大変であると話しています。また、量だけでなく内容もとても難しいものとなっているため、オンライン教材を参考にしたり、インターネットで調べたりしながら、取り組んでいるとのこと。更に、家庭学習用教材以外の課題も学校から与えられるとのこと。具体的には、メディアで報道されているニュースを 20 個調べ、それを報告するというような課題もあったとのこと。このように、学校から非常に多くの量の課題を与えられるため、アルバイトの仕事が休みとなっている日曜日も勉強の時間に充てているとのこと。

昨年度の授業終了から今年度の授業が始まるまでの 2 ヶ月ほどの長期休暇には、自分自身のスキルアップを目指し、電気工事士として働いている知り合いの家に何度も訪問し、電気や電線のことについて色々教えてもらったそうです。更に、アルバイトで稼いだお金で電気工事に関する本を購入し、空いた時間を使ってそれを読み、勉強をしているとのこと。また、電気工事に関する本だけでなく、学校の授業に関連するような参考書も購入し、様々な知識を増やすために頑張っているとのこと。



家庭学習用教材に
取り組む様子

アリスは中学生の時に、学校の授業になかなかついていくことができず留年をしてしまったという経験を持っており、どちらかという勉強が苦手な、学問に対しては少し億劫であるというようなタイプの子でした。そのようなアリスが自分のスキルや知識を向上させるために主体的に取り組んでいる現在の姿は、アリスの大きな成長を見ることができ、非常に嬉しく思っています。また、アルバイトで稼いだお金を家計のためや本の購入のために使用するなど、非常に有意義で上手なお金の使い方ができているという印象を受けています。

日常生活では、普段から年下の兄弟の勉強を教えてあげたり、家のお手伝いをしたりするなど、家族の一員としての役割も積極的に果たしています。また、クリスマス休暇には、家族と一緒に海に泳ぎに出掛けるなど、家族との関係も非常に仲の良い関係を築いています。家族に対してとても思いやりがあり、優しいというアリスの長所を引き続き大事にしてほしいと願っています。

卒業後の進路に関しては、まだ具体的には決まっていないとのことですが、船乗りや警察官になりたいというような夢も持っているとのこと。アリスが希望する進路に進むことができるように、引き続き、応援とアドバイスをしていきたいと思っています。

最後になりましたが、2021年度も子ども達への温かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。依然として新型コロナウイルスの影響が続いており、奨学生やその家族にとって非常に困難な状況が続いていますが、奨学生が意欲的に学業に取り組むことができるよう、担当スタッフとともに尽力していきたいと考えています。今後も引き続き、温かい目で見守っていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



家のお手伝いをしている様子

報告者：山本 浩平（フィリピン事務局）

2022年2月14日